

令和元年度 第5回多摩市子ども・子育て会議 会議録

- 1 日時 令和2年1月29日(水) 18:30~20:00
- 2 場所 多摩市役所 301会議室
- 3 出席者 大日向委員(会長)、関岡委員、福島委員、石川委員、島田委員、小畑委員、高橋委員、早津委員、酒井委員、佐藤委員、松本委員、宗宮委員、木下氏(関係者)
※欠席者：高岡委員(副会長)、麻生委員、安藤委員

4 開会

- 会長 令和元年度第5回多摩市子ども・子育て会議をはじめます。
- 事務局 本日の出席者を確認させていただきます。本日、現時点で15名中9名(のち12名)の出席となっており会議は成立いたします。
配布資料の確認をさせていただきます。
(配布資料の確認：審議資料1-1~1-3、報告資料1~3、参考資料1、2)
- 会長 それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。

5 審議

【審議事項】

(1) (仮称)多摩市子ども・子育て・若者プラン(素案)パブリックコメントの結果について

- 会長 それでは、審議事項について事務局よりご説明をお願いいたします。
- 事務局 (審議資料1の説明)
- 会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
- 委員 パブリックコメントにもあったインクルーシブ公園について、多摩市には古い公園が多くあると思いますが、これらの公園を変えていく予定はありますか。予定があるのであれば、インクルーシブ公園としての変更を視野に入れていただきたいと思います。インクルーシブ公園は障がいがある子どもだけでなく、乳児も遊べるような公園ですので、このような公園が市内に一つでもあると、いろいろな地域の方が遊びに来ると思います。また、放課後子ども教室について、日数を増やしていただけることを願っています。
- 事務局 公園については、いただいた情報を公園緑地課と共有させていただいています。市内の公園については、公園施設長寿命化計画に従って順次更新していく予定であり、利用者の意見を聞きながら、どのような遊具、設えにしていくか検討していきます。
- 事務局 放課後子ども教室について、自治体によって実施状況は様々ですが、学校側の協力がある成り立っている部分があり、放課後の時間、場所の提供の調整が必要となっています。今後、学校側、地域の方々との協力によって、実施回数を増やす方向で検討しているところです。
- 委員 近い将来、日数が増えることはあるのでしょうか。
- 事務局 学校によるところが大きいですが、西落合小学校で来年度、日数を増やせるかどうか検討しているところです。
- 委員 学校側の立場から申しますと、放課後子ども教室に関してはPTAの方々を中心とな

って、地域の高齢者の方々に協力していただきながら実施しています。なかなか学校側から予算を出して実施することもできないので、市から予算をいただいて実施しています。配慮を要する子どもを見るために、地域の方々とどこまで対応できるか、子どもを見る側がどこまで理解できるか、おやつの有無やアレルギーの対応など多くのハードルがあり、学校としては実施していただきたいのは山々ですが、現実的には難しい部分が多いと思います。

○会長 貴重なご意見、ありがとうございます。多摩市のプランをこの場で策定することとしておりますので、ご意見を考慮してインクルーシブ公園については記載していただいていると思います。放課後子ども教室についてもいろいろな議論を反映して、今後とも検討していただくということによろしいでしょうか。他にご意見はございますでしょうか。

○委員 いろいろな公園がある中で、公園の種別を整理したうえで、どこならインクルーシブ公園にできるのかなどを検討された方が良いと思います。放課後子ども教室については、市民のニーズを踏まえて手法の整理をした方が良いと思います。

○委員 多摩市では学童クラブに障がい児の枠を設けて、できる限り受け入れていく方向性を示しています。学童クラブに障がい児が高学年になると入りにくくなるという点について、ぜひ検討して進めていただければと思います。

○事務局 入所選考の基準については児童の監護が必要な度合いによりますので、保護者の条件等が同じであれば、放課後の時間が長い低学年の加点が大きくなります。すべての方々に納得していただけるように公平公正の観点において、しっかり検討を進めて今後の対応を図っていきたいと考えています。

○委員 学童クラブの障がい児の送迎について、市の職員がその子どもの状態を把握して、必要であれば学童のスタッフに送迎してもらおうなど、柔軟な対応というのはできないのでしょうか。

○事務局 すべての方々が同じサービスを受けられるということが重要だと考えています。これから入所決定通知を受けた保護者において、個別の相談対応はしていきたいと考えています。

○委員 素案の42ページ、基本方針の中で、「子どもが健やかに育つことは、保護者が」の部分がありますが、子どもが健やかに育つということの定義や理念があっべきだと思います。例えば、「子どもが健やかに育つことは、子どもが主体的に遊び、社会と関わりながら心と体を健康に人間的に成長することです」のような、遊びについてももう少し入れてみてはいかがでしょうか。

○事務局 子どもの健やかな成長への支援について、素案の前ページ、基本方針1で大人目線だけではなく、子ども・若者の声も大事にしながらという思いは入れさせていただきました。いただいたご意見は課題として検討させていただきます。

【報告事項】

(1) 令和2年度学童クラブ入所申請状況について

- 会長 それでは、報告事項1について事務局よりご説明をお願いいたします。
- 事務局 (報告資料1の説明)
- 会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
 (意見なし)

(2) 令和2年度4月1次保育所入所申請状況について

- 会長 それでは、報告事項2について事務局よりご説明をお願いいたします。
- 事務局 (報告資料2の説明)
- 会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
- 委員 0歳児の希望が大きくなり、1歳児の希望が少なくなっているという点はどのように分析していますか。
- 事務局 具体的な分析は進めているところです。0歳児の申請の方がどのような方が多いのか、非正規職員が多いのか、正規職員が多いのか、待機児童が見えてくる中で分析は丁寧に行っていく予定です。
- 委員 多摩市に限らず、女性の社会参加のために保育をどのように提供しようとしているのかよく見えないので、これを変えるような考え方が必要という印象です。
- 事務局 国では女性の就業率80%を掲げており、多摩市としても女性の就業率が上がるにあたって、保育の受け皿を増やしていく努力をここ数年続けています。その対策として、新規の認可施設を開所して、少しでも早く待機児童を解消できるように努めているところです。
- 委員 学童クラブの件に戻ってしまいますが、例えば、定員数をオーバーしている学童クラブの定員数を減らして、空いているところの定員数を増やすなど分散することはできないのでしょうか。
- 事務局 定員数については、育成に必要な平米数がありますので、国の基準を守った中で定員数を設定しています。多少、ゆとりのある学童クラブについては、定員が増やせるかどうか、受託法人と調整を図りながら検討していきたいと考えています。
- 委員 保育所について、3、4、5歳児の入所希望が増えている状況がありますが、保育の無償化が保育所申請に影響あるのかどうか、考察、分析等ありますか。
- 事務局 幼児教育・保育の無償化の影響については、その分析ができるデータの積み重ねができていない状況です。今後、幼稚園の入園結果、認証保育所の入所結果を受けて、比較・分析していく形となります。年度初めの子ども・子育て会議の中で、待機児童の状況も含めて報告をさせていただきたいと考えています。
- 会長 他はよろしいでしょうか。ないようであれば次の報告事項に移りたいと思います。

(3) 貝取保育園閉園式について

- 会長 それでは、報告事項3について事務局よりご説明をお願いいたします。
- 事務局 (報告資料3の説明)
- 会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
(意見なし)

4 その他

- 会長 最後に、その他について事務局からお願いいたします。
- 事務局 次回第6回子育て会議の日程は、令和2年3月10日を予定しております。
- 会長 それでは、本日の会議を終了したいと思います。ありがとうございました。

以上